

学校だより 5月号

令和6年5月1日
鴻巣市立小谷小学校

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

小谷っ子

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

URL <https://koya-e-konosu.edumap.jp/>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

毎月19日は「食育の日」です

開校記念日 4月27日に117周年（118年目）を迎えました

校長 棚澤 大輔

先日の授業参観・PTA 総会・学級懇談会では、多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。個人面談でもお話を伺っているところですが、本校といたしましては、保護者の皆様のお子様への思いを胸に、子どもたちの発達の段階にあわせ学校教育活動を進め、子どもたちの成長を支援してまいります。

さて、4月27日は本校の開校記念日でした。今年度は土曜日と重なり、学校で子どもたちと迎えることはできませんでしたが、4月30日の給食時にみんなでお祝いをしたところです。

本校は1872年（明治5年）の学制発布時に設置されたことが始まりとなりますが、1907年（明治40年）に小谷尋常小学校と前砂尋常小学校が合併し、4月27日に現在の地に設置され新築落成式を行ったことを記念し、この日が開校記念日と定められました。校長室にはその時の様子を伝えるものとして、当時の埼玉県知事であった大久保利武氏から頂いた落成にあたっての祝辞が掲額されています。本校の完成を「正におどろしい程の喜びであり これ以上の喜びはありません（欣喜ノ感何之ニ加エン）」とし、「必ずや未来に輝くこと限りなきものと思います（多大ナ光景界ノ域ニ達セルモノト謂フベシ）」との言葉を残されています。

当時、この地で学校建築にご尽力された方々の思いが今もなお、残された祝辞から感じられることに感慨深いものがあります。また、小谷小学校が今日に至るまで、多くの方々に支えられ、子どもたちの輝く笑顔が生まれた場所であったことに、喜びを感じる次第です。

また、昭和46年3月3日には本校の校歌が制定されています（それ以前の校歌はどのようになっていたかは不明でした。ご存じある方は校長に教えていただければ幸いです）。川辺夏生氏の作詞、竹村晴男氏作曲となります。

1番では、さわやかな風が吹く中、希望や目標をもって勉強を頑張ろう。2番では、苗から黄金輝く稲穂へと成長していくように、風や逆境に負けぬ強い体と心を育もう。3番は、自然豊かなこの土地で、友情を育み、切磋琢磨して伸びていこう。そうして、未来の世界を、小谷に育った人間として誇りをもって生きていこうと伝えてくれています。私は26代目の校長となりますが、校歌の中で表現されている風景や子どもたちの姿は、先輩方から伺っている以前の小谷小学校の様子と今も変わらず、歌詞のような生き生きとした子どもたちの姿を学校の中で年間通して感じているところです。

昔も今も、子どもたちの健やかな成長を願う大人の思いは変わらぬものなのだと、開校のことや校歌から窺い知ることができます。私は、こうした思いを保護者や地域の皆様と共有し、ともに教育を進めてきたことが、小谷小学校の誇りうるところだと思います。今年度いっぱい本校は閉校となるわけですが、小谷の教育理念は地域の方々によってこれからも受け継がれていくことでしょう。

終わりに、本校では今年度、これまで学校の教育活動にご意見をいただいていた学校評議員制度から学校運営協議会制度に移行し、学校運営への参画及び支援促進をお願いすることとなります。懇談会や個人面談等で保護者の皆様からお聞きする思いとともに、学校運営協議会の皆様との協議により、より一層、「地域と共にある学校」となるよう、教育活動を進めてまいります。今月も保護者・地域の皆様、ご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

